

1. 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105222
法人名	医療法人 春風会
事業所名	グループホームはるかぜ西伊敷
所在地	鹿児島市西伊敷4丁目45番5号 (電話) 099-228-2771
自己評価作成日	平成22年3月12日
評価結果市町村受理日	平成22年4月28日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaken-shakyo.jp/kohyo/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 シルバーサービスネットワーク鹿児島
所在地	鹿児島市真砂町34番1号 南光ビル303号
訪問調査日	平成22年4月3日
評価確定日	平成22年4月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

閑静な住宅街に位置し近隣には大きな公園もあり、散歩コースとなっています。又、急な発熱など疾病等についても協力医療機関・近隣病院の協力のもと安心して過ごせ、ホーム内はゆったりと広く、部屋は冷暖房完備の個室となっています。
広い芝生の庭・菜園には、旬の野菜が植えられ、利用者と一緒に収穫・調理する等、新鮮な食材にこだわっています。
グループホームは「生活の場」であることを意識し「出来る事・できない事」を見極め自立支援に繋げ役割を持っていただくことで存在価値を高め意欲向上につなげています。
健康管理に徹し、身体的維持・向上を目指し生活リハビリに努め利用者中心に安心・安全のケアを提供し本人ペースで生活できるよう支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホーム開設以来4年が過ぎ、地域とのつながりが着実に築かれて来ている。町内会の会合がホーム内の地域交流室で行われたり、夏休みのラジオ体操会場として前庭を提供するなど、地元住民や子供たちとの交流も盛んである。運営推進会議には町内会長や民生委員をはじめ、協力歯科医院の院長も参加して下さる。職員は、利用者が日常生活で発せられる言葉や様子を詳細に記録しており、これらを基に情報を共有し、どのような言葉かけやケアを行えば安心して生活していただけるかを常に検討しながら支援している。工夫している点として、利用者一人ひとりに外出月が設定されており、普段なかなか行けない場所への外出支援を行っている。デパートでの買い物やラーメン店、映画鑑賞や墓参りなど、これまでの楽しみや大切にしてきた場所への外出ができるように、ご家族とも相談しながら取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	目の付く位置に貼付し職員一人一人のネーム裏へも記載されており毎朝、朝礼で唱和を行い常に理念を意識したケアに取り組んでいます	理念は誰もが目に付くように、玄関を入ってすぐの場所に掲示しており、職員のネームケースにも入れて携行している。毎朝理念を唱和し、職員は常に理念を意識しながらその実践に向けて取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しゴミ置き場の清掃・回覧板を回す・地域高齢者と一緒にグランドゴルフに参加・夏休みはホーム庭で子供達と一緒にラジオ体操をする等しています	利用者と職員と一緒にゴミ置き場の清掃をしたり回覧板を届けるなどして、地域の活動に参加している。また、ホーム内の地域交流室で町内会の会合が行われたり、夏休みにはラジオ体操の会場として前庭を提供するなど、地元の住民や子供たちとの交流も盛んである。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	町内会会合・婦人会等に参加した際認知症について・ホーム行事・ケア内容などを話したりホームへ来た認知症講演会などの案内・お知らせなどを回覧で回すなどしています	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホーム行事・支援内容・評価への取り組みなど報告を行い得た意見・情報等はミーティングなどで職員と話し合いサービスに活かしています	会議には、ご家族や住民代表をはじめ、地域包括支援センター職員や隣接する歯科医院の院長も参加されている。ホームからの報告に加えて、出席者から町内会や学校行事の情報を提供してもらい、花火大会の見学や文化祭への出展などが実現している。	会議メンバーとして、消防や警察関係者にも参加を呼びかける計画があるので、安全管理および災害対策について、さらに充実した取り組みがなされることを期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	高齢者福祉課・介護保険課・包括支援センターなど常に連携を図っております	管理者は、日頃より市担当者と協力関係を築いている。車椅子やオムツの相談の他、介護相談員の受入も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束マニュアルをもとに月1回拘束委員会を開催して取り組んでおります</p>	<p>月に1回、身体拘束委員会を開催して職員間で検討している。身体拘束マニュアルに沿って対応しており、やむを得ない場合はご家族に説明し同意を得た上で、その後の経過を記録し説明している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修等には積極的に参加し、参加した職員は他の職員へ研修内容を発表し又、月1回対策委員会を開催しています</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修は参加しています。家族会等に於いて制度について報告・説明など実施しています。いままでに1件相談があり支援しました</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に説明・同意を得ています又、改定等の際には、文章により案内を出し会を開催して説明・同意を得るようにしています</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>管理者・職員へ気軽に言える雰囲気造りに努め、又、各利用者様の居室に意見・要望・連絡ノートが設置されています</p>	<p>家族会で、ご家族だけの話し合いの時間が設けてある。各利用者の居室には連絡ノートが置かれ、直接話せないことについてご家族が記入して下さる。出された意見や要望については、職員間で話し合い、改善へ向けて取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	朝礼・送り・会議の場・ケア中など日常的に提案出来、反映されている	1・2階の職員と利用者との交流が日課活動を通して行われており、日頃からコミュニケーションが図れている。ミーティングは勤務時間内に行い、職員からは自由に意見が出され、運営に反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	努力されています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修は積極的に取り入れ職員一人一人のスキルアップに努めています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括センター主催交流会・同法人・他同業者の施設を訪問したり研修会等で交流を図り知り得た情報等を話し合い向上に取り組んでいます		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に訪問面談を行いなじみの関係づくりに努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前面談・契約時に思い・意向を十分に伺うよう努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の希望を伺い、その方に適したサービスが受けられるよう支援しています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様主体に利用者様の力を十分に拝借し一緒に共同生活を送っています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との交流・関係が第1と捉えた支援を行っています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	居室への訪問・電話連絡・外出などがあります	利用者がこれまで大切にされて来られた馴染みの関係が途切れることの無いように、知人の来訪や電話連絡などの取り次ぎを行っている。また、行きつけの美容院などへの外出支援も行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	会話の中で互いを思いやる・尊重しあう言葉が聞かれたり・居室で談話を楽しむなど非常に仲良く過ごされています		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談・支援に努めています。退居されても、よく相談の連絡があります		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意向・思いを十分に把握できるよう努め職員間で情報を共有し、ご家族と相談しながら本人の意の副えるよう支援しています	日常生活の中で、一人ひとりの思いや暮らし方への希望、意向などを、本人の様子や言葉から汲み取り、申し送りノートなどを使い職員間で共有している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	関係者からの情報収集に努め又本人との会話の中から情報を得よう努めています			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活の場であることを職員一人一人が認識し、その方の現状把握に努めています			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のカンファレンス・関係者との話し合いで本人に即した計画作りに努めています	ケアプラン実践記録を基に、毎月モニタリングを実施している。介護計画は、設定期間および状態変化に応じて見直され、利用者の現状に即した介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録の重要性を認識し職員一人一人が毎月モニタリングをおこない計画に活かしています			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれ るニーズに対応して、既存のサービスに 捉われぬ、柔軟な支援やサービスの多 機能化に取り組んでいる	状態・状況に合わせたサービスが受けら れるよう支援しています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地 域資源を把握し、本人が心身の力を発揮 しながら安全で豊かな暮らしを楽しむこ とができるよう支援している	地域の高齢者に混ざりパーキーン病な がら本人の楽しみにしているグランドゴ ルフに職員同行にて支援しています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切 にし、納得が得られたかかりつけ医と事 業所の関係を築きながら、適切な医療を 受けられるように支援している	主治医は本人・家族の希望に副いホーム 側は主治医との連携に努めています	本人およびご家族が希望するかかりつけ 医となっており、医師との連携ノートを 使い情報提供を行っている。また、利用 者の状態に応じた受診介助の方法につい てご家族と話し合い、毎月の家族便り で受診予定日や結果の報告を行っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとら えた情報や気づきを、職場内の看護職員 や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の 利用者が適切な受診や看護を受けられる ように支援している	協力医療機関のドクター・看護師と連携 を図り適切に受診できています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療で きるように、また、できるだけ早期に退 院できるように、病院関係者との情報交 換や相談に努めている。または、そうし た場合に備えて病院関係者との関係づく りを行っている。	環境の変化が与えるダメージを理解し早 期退院ができるよう病院ソーシャルワー カー・師長との連携を図っています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に意向を伺い、医療行為が全く出来ないことを伝えています。状態・状況に合わせて話し合い支援しています</p>	<p>重度化や終末期におけるホームとしての対応方針については、契約時にご家族に説明している。利用者の状態変化に応じてご家族と話し合い、緊急時に備えて地域医療機関と緊密に連携しながら支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変・事故に対してマニュアルが掲げてあり、担当者により定期的に勉強会を開催し年1回救急隊による指導も行われています</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災対策マニュアルをもとに自主訓練や公的機関の訓練を受けて実践に活かせるよう努めています</p>	<p>消防署立ち会いによる年3回の避難訓練に加え、自主訓練も年5回行っている。訓練記録には反省点が克明に記録されており、災害対策に対する真摯な姿勢が伺える。自衛消防組織には、運営推進会議メンバーである歯科医院院長と町内会長が名を連ねてください、地域の協力体制が整っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	「自身が言われたり・されたりしたら嫌」を常に意識しケアの提供に努めています	職員は我が身に置き換えて、利用者が尊厳を持って暮らし、自発的行動を無くしないように、言葉かけなどに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	バリテーション方式を用い、ゆっくり会話を楽しみ思いや希望を伺い支援しています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎朝、朝の集いで意向・思いを伺い、できる限り副うよう努めています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	美容院にカット・染めるなど行かれ地域の方の協力のもと支援しています		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	できること・できないことを見極め利用者様と話し合い役割を持って生活されています	朝の集いで、食材をヒントにメニューの希望を聞くなどして、食事が楽しみなものとなるように支援している。利用者の力量に応じて力を発揮できるように、準備や後片付けなどの役割をもっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人の嗜好・疾病・状態に合わせた支援を実施しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	「疾病発症は口から」を意識し毎食前・後口腔ケアに徹しています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄リズムを把握し、思いを察知したり時間誘導するなど自立支援に努めています	排泄の自立支援に向け、トイレの手すりの位置を整備するなど、随所に工夫がみられる。一人ひとりの状況に応じて、水分量や食事量、運動量などを検討して支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事・水分・運動の意識を持ち薬を使わない方向でケアに努めています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決めてありますが、その日の状況・利用者様の状態・体調に合わせた支援を提供しています	入浴は週3回と決められてはいるが、利用者の希望や天候、行事等に合わせて、柔軟に対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	本人ペースで支援しています。自 身が休息したい場所で休んでい ただき見守っています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る	職員一人一人が利用者の服薬情 報を所持し状態の変化に敏感に 察するよう努めています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活暦や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている	テレビが楽しみな方・縫い物が できる方・読書が好きな方・土 いじりなど個々に支援してい ます		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう に支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	普段行けない場所への外出月が 設けてあり、家族・職員と一緒 に外出したり、本人の意向に副 えるよう努めています	一人ひとりの状態に合わせた移 動方法で、ホームの周辺を日常 的に散歩している。映画鑑賞や ラーメン店など、普段は行けな い場所に出かけられるように、 外出月を設けて個別に対応して いる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している	本人からの希望・散歩・買い物 等に出かける時預かっている小 遣いを渡し金銭の出し入れをさ れています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	年賀状を出す・手紙の返信を書く・電話をかける・取次ぎなど自由にされています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の草花を飾り、心地よいほのかな香りが漂いゆったりと過ごせるように工夫をしています	広いリビングホールや和室で、利用者は思い思いに過ごしておられる。菜園に連なる庭に、ゴザを敷いたり椅子を並べて過ごすこともある。ホーム全体にアロマの香りや季節感を取り入れることで、安心して穏やかに暮らすことができるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	コタツのある和室・ソファなどを利用され思い思いに過ごされています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に使い慣れた馴染みの家具を持って来てくださるようお願いし本人が自身の部屋と解るよう工夫されています	ベッドカバーを手作りをするなど、温かい雰囲気の中で、本人が安心して居心地よく過ごせるように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全盲の方でも自立した生活ができるよう支援しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「あなたと家族の絆を地域の中で大切に支えていきます」と理念をホーム内に掲げ・ネーム裏へも記載し、毎朝、朝礼時に唱和を行い常に意識したケアに取り組んでいます。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者さんと一緒にチリ捨て場の清掃・回覧板の受け渡し・散歩・買い物時など挨拶を交わし立ち話をするなど日常的な付き合いをしています		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議・町内会の会合時などで相談事・不明な事があればいつでも相談に応じますと伝えてあります		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現状報告・行事報告などを行いホームが抱えている問題点など話し合わせ意見や提案をいただいたことは、ミーティング時などで話し合い質向上に活かしています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険・高齢福祉など相談に行ったり、車椅子借用・介護相談員の受け入れなどでサービスの質向上に繋がっています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	毎月、身体拘束委員会を実施しており1ヶ月の振り返りを職員全体で行っています		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	機会があるごとに勉強会への参加・マニュアルを作成して職員同士で注意を払い防止をしています		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	研修には必ず参加している今までに、お一人の家族より相談があり一緒に書類作成に携わった		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約書・重要事項説明書にて十分な説明を行い、疑問点など理解が得られるよう努めています		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	苦情設置箱を設けたり「気づいた事・ホームへの要求」など何でも記入していただくよう各居室にノートを設置するなどしている。また鹿児島市介護相談員訪居時は事前にお知らせなどを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティングなどで話しやすい雰囲気づくり、常日ごろの意見も取り入れ反映させています</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員同士、よいところがあれば参考にし質の向上に努め、適切な指導をおこなっています</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修も積極的に参加できるよう体制を整えています</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>利用者と共に訪問していたが新型インフルエンザなどが流行ったため訪問を控えた</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、許可をご家族から得て本人へ会いに行き、なじみの関係作りに努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の相談・契約時に十分に思いを伺っています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	要望、話しを十分に伺い、アドバイスができるように努めています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自立支援を心がけて、出来ることは共に行き、経験、知恵を拝借し常と一緒に行動しています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と連携を図り、受診同行・誕生会・食事会・外出等協力を得るなどに共有しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	居室はなじみの物を置くようにしている、馴染みの人とは、個人情報もある為にご家族の許可があればいつでも自由に面会が出来るように配慮しています		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	他者の居室を行き来する・日向ぼっこをしながら会話を楽しむ等が見られ利用者同士の思いやり、互いに尊重しあい生活をされています		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	職員が交代で面会に行くなどし、ご家族より相談を受けるなど支援を行っています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	常日頃よりケアの中で、その方の思い・意向などの把握に努めている。またご家族より十分な聞き取りを行い本人の思いに近づけるように支援しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族・関係者などから十分な聞き取りを行い把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝の挨拶の会などで、本人の状態・希望などを聞いたり職員間で状況・状態を把握し情報を共有し本人ペースのケアを心がけています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアの実施記録より毎月、担当者がモニタリングを行い、ご家族へ生活の状況をお知らせして意見を伺ったり、カンファレンスを開催して計画を作成しています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	発した言葉・気づき・思いなど記録に残し情報の共有を図りケアプランに活かしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	主治医の往診など、ご本人・ご家族の思いに柔軟に対応しています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	必要に応じておこなっています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族の意向を尊重し、支援しています		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の健康管理に努め主治医との連携で支援をしています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は職員が交代で面会に行き安心をを促し、管理者が早期退院を目指し相談などを積極的に行っています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化・終末期の、あり方については、契約時に話し合いがなされ意向を伺い全職員で情報を共有している。また状態に変化があった場合は、その都度主治医・ご家族と共に方針が話し合われ意向が反映されるよう支援しています		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変・事故に対してマニュアルが掲げられており、年1回救急隊による指導が行われています		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	自主訓練を年5回行い、消防署の立会い訓練を年2回行っている。また近隣の方々へは町内会長を通じて会合時に協力の呼びかけをおこなっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	記録物などは、常に目に付きにくい場所へ保管しているプライバシーを損ねないように配慮しています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	気軽に何でも話せる関係作りに努め、また思いを察知し自己決定を尊重したケアに努めています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの思いを朝の会等に伺うことを毎日やっている。本人ペースで過ごしていただくように支援をしています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご家族の自宅でヘアカット・髪染め等をされる方もいます。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に、調理・盛り付け・味見・食器洗いを楽しみながらおこなっています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量に関しては身体状況表を作成し記録に残し、利用者個々の状態を把握した支援をおこなっています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食前後おこなっている、本人の出来る所までをしてもらい、自立支援を促しています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄リズムを把握し、失敗のないように努め、本人にあった排泄介助をおこなっている。また日中は気持ちよく過ごせるように綿パンツの使用をすすめています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維が摂れるよう調理に工夫をし、水分摂取量が1日1500cc以上を目安にし、適度な運動への参加を毎日促しています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴時間、曜日は決められているが、身体状況・意思を考慮し臨機応変に対応している。夜間帯は、職員が一人のため安全を確保できないので入浴ができない事を説明しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の意思を尊重し状況に応じて、声かけを行い自室でゆっくり休んでもらえるように支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	管理者作成の投与薬の効能と副作用について一覧表がある利用者、個々の使用している薬の内容が分かるようになっている。症状の変化の確認に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	読書・散歩・畑いじり等生活暦を活かし活動されている。また一人ひとりが自ら役割に取り組みされる姿があります。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	個別に希望を聞き、映画・庭園へ出かけている。またお花見・ソーメン流しなど、行事に組みホーム全体で行っています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には、ホームで預かり必要に応じて出し入れをおこなっている。本人・ご家族と話し合い所持されておられる方もいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話・手紙など自由にやり取りをしていただいています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が生けた花を飾り、利用者に分かりやすく居心地よく暮らせるように工夫しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室・ソファがあり、利用者同士思い思いに過ごしています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に、ご家族へ馴染みの家具を持ってきていただくようお願いしてあるため本人らしく過ごさせています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりを設置したり、表札・暖簾・目印の人形を置くなど工夫をしています		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない